

本書に示す範囲で、設計並びに施工を行ってください。

用途	この温風暖房機は対人暖房用に設計されています。温室・養蚕室・温蔵庫・乾燥室などには使用しないでください。また常時、人のいないところにも設置しないでください。							
設置場所の温度	-20～35℃ * ただし低温域においては燃料がよどみなく供給されることが条件です。							
温度調節器の設定温度範囲	0～35℃							
使用燃料及び供給圧	燃料種	供給圧						
	都市ガス13A	低圧供給(標準供給圧:2.0kPa) 最大供給圧:2.5kPa 最小供給圧:1.5kPa						
	LPG	低圧供給(標準供給圧:2.8kPa) 最大供給圧:3.3kPa 最小供給圧:2.5kPa						
対流ファンの選定 (対流ファンは本製品に装備していません。)	機内を通過する風量は、2400～3,600m <sup>3</sup> /hの範囲としてください。下表の特性を考慮して、対流ファンを設定してください。							
	通過風量 m <sup>3</sup> /h	2,400	2,600	2,800	3,000	3,200	3,400	3,600
	機内抵抗 Pa	196	240	287	334	382	432	482
	昇温温度 K	55	51	47	44	41	39	37
電源	単相 100V 50/60Hz							
電圧変動	定格電圧 100V ±10%以内							
リモコンスイッチ	別途							

#### 使用できない場所

- 可燃性ガスが発生し、また滞留の恐れのある場所。
- 温泉地区など亜硫酸ガスのある場所。
- 実験研究室・印刷等周囲で化学薬品を使用する場所。
- オイルミストが舞う場所。
- プールのような塩素や湿気の多い場所。
- 高温になる場所。
- 電磁波・高調波の発生する機器の近く。
- 海岸地帯の潮風が直接当たる場所。
- 水のかかる場所や浸水の恐れのある場所。
- 雨水・雪などのかかる場所。
- 大量の粉塵が舞う場所。
- 化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する場所。
- 車両や船舶など、移動するものへの設置。
- 標高1,000m以上の場所。
- 廊下・階段及び避難口。
- 可燃物の落下や、接触の恐れのある場所。
- 火災予防条例等で、火気の使用が禁止されている場所。

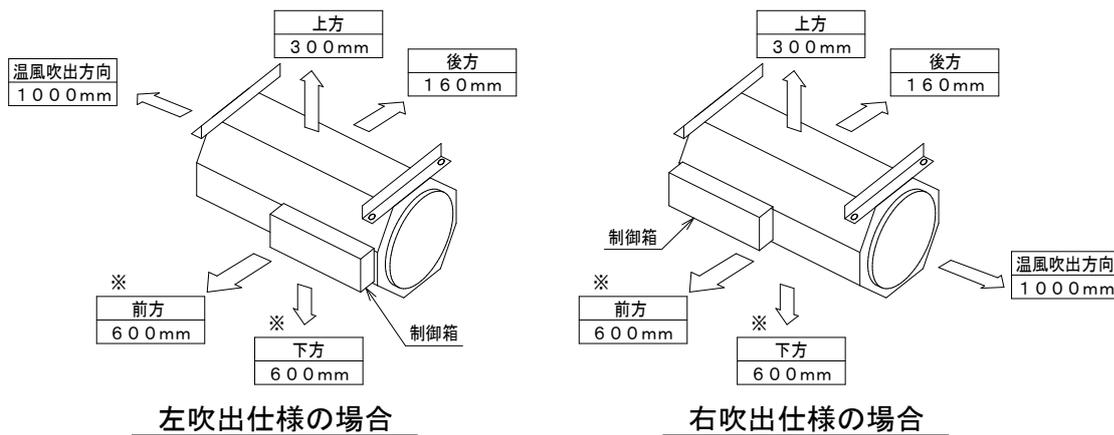
#### 据付場所の選定

- 以下の事項を留意して据付場所を選定してください。
- 排気筒工事や燃料配管工事などの付帯工事に支障を生じない場所としてください。
  - 設置後の保守・管理が容易に行える場所としてください。
  - ドアや階段・避難口の近くには据付けないでください。
  - カーテンなど燃えやすいもののそばには据付けないでください。
  - 本体が天井面に確実に固定できる場所としてください。
  - 給気・排気管の延長を10m5曲がり(45° 曲がり、90° 曲がりを共に1曲がりとする)とした時に、給気・排気筒トップが屋外に設置できる場所としてください。
  - 高周波を発生する機械がある場所は避けてください。

				認可	確認	作成
符号	改訂	年月日	点検	荊山	飛田	佐久間
形式	MHF0460GHT-L(左吹出仕様)、MHF0460GHT-R(右吹出仕様)					
名称	使用範囲	図番	XRF20679M		葉別	1/4

## 周囲構造物との離隔距離

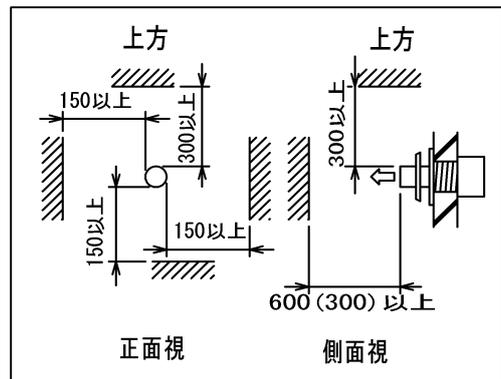
機器の保守点検や火災予防上定められた距離を必ず確保してください。



※サービススペースとして600mm以上確保してください。

## 排気吹出し口と周囲構造物との離隔距離

右図は防火上、必要な不燃材料以外の部分との離隔距離です。  
不備があると性能が不十分であったり、火災、異常過熱の原因になりますので必ず離隔距離を確保してください。

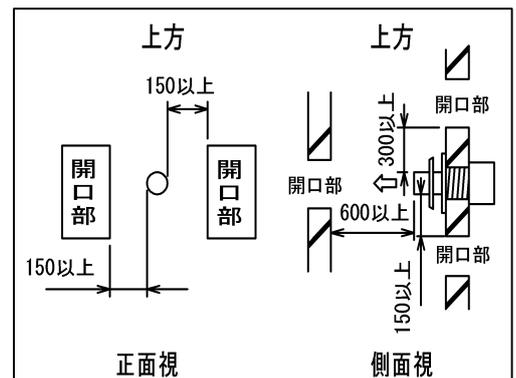


排気吹出し口と周囲構造物との離隔距離  
※(300)は不燃材料で有効に仕上げた場合

## 給排気筒取出し場所の選定

この温風暖房機の給排気筒取出し場所は、以下の事項に留意して選定してください。

- 給排気筒トップは必ず屋外に取り付けてください。
- 風が強く当たる場所に給排気筒トップを出すのは避けてください。
- 給排気筒トップは、子供の遊び場や人通りの激しい場所に面する壁面には、できるだけ設置しないでください。火傷や給排気筒トップを損傷する恐れがあります。
- 給排気筒トップは、雪や落葉の吹溜まりになるような場所には取り付けないでください。寒冷地では特に積雪やつらら等により給排気筒トップがふさがらないように取り付けてください。異常燃焼や重大事故の原因になります。
- 給排気筒トップは集合煙突の中には絶対に取り付けないでください。
- 壁内に設置された鉄筋・電気配線・電話配線・ガス配管や水道配管等の位置を十分考慮して、給排気筒を設置してください。
- 床下や天井裏に給排気筒トップを設置しないでください。
- カーテン等の可燃物が給排気筒に接触しないように取り付けてください。
- 給排気筒は周囲に引火物や危険物(ガソリン、灯油、プロパンガス等)がある場所には取り付けないでください。
- 植木や愛玩動物は給排気筒トップから遠ざけてください。
- 十分開放された空間で、排気ガスの滞留しない空間に設置してください。開放廊下や下がり壁のある天井面付近などには注意が必要です。「防火上の離隔距離」を守っても排気ガスが滞留する可能性があります。滞留した排気ガスが給気側に吸い込まれると異常燃焼の原因になります。
- 排気ガスが室内に流入しないように、暖房中に開放される窓や換気口等から右図に示す距離を確保した位置に給排気筒トップを設置してください。



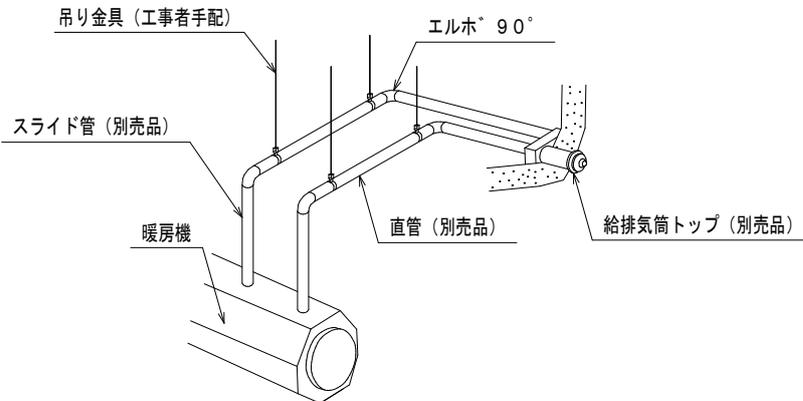
排気吹出し口と建物開口部との離隔距離  
単位:mm

名称	使用範囲	図番	XRF20679M	葉別	2/4
----	------	----	-----------	----	-----

## 給排気筒接続

以下の事項に注意して接続してください。

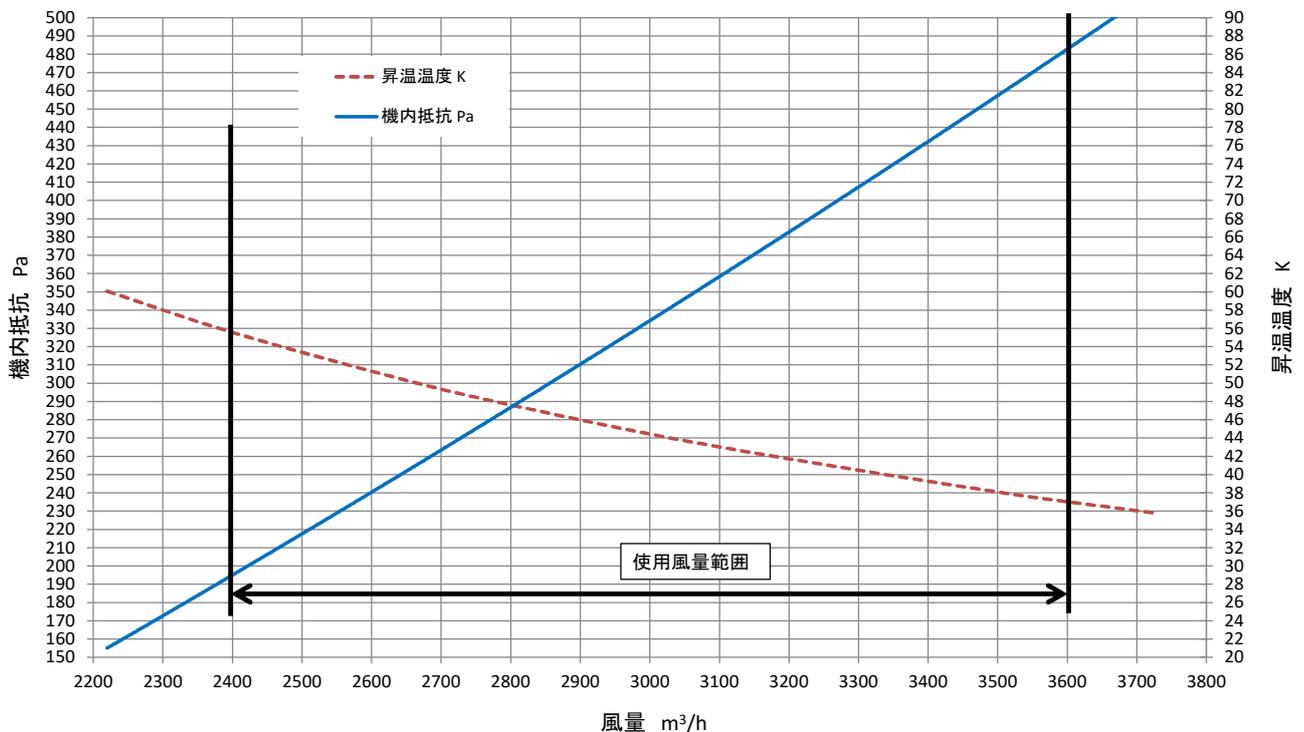
- 給気管は屋外より燃焼空気を取り入れてください。
- 排気管は必ず屋外へ排ガスを排出してください。
- 給気管、排気管延長は最大10m5曲がり以内としてください。  
これを超えると異常燃焼を起こすおそれがあります。



## 吹出ダクト接続

以下の事項に注意してください。

- 下図の特性を考慮して予めダクト計算の設計を行い、施工後は所定風量が確保されていることを確認してください。
- 風量不足は燃焼炉の過熱に繋がり、製品寿命に影響を与えます。
- その他関連法規(火災予防条例等)に従ってください。



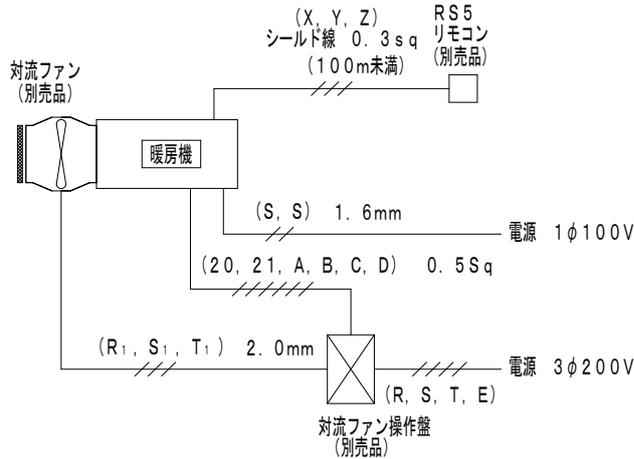
## 対流ファンの選定

以下の事項に注意してください。

- 本製品は対流ファンを装備していません。上図の特性を考慮して対流ファンを選定してください。
- また、対流ファン操作盤を必ず用意してください。
- 対流ファン操作盤は別売品をご購入いただくか、仕様が合わない場合は現地にて専用操作盤を手配してください。

名称	使用範囲	図番	XRF20679M	葉別	3/4
----	------	----	-----------	----	-----

## 系統図



## ガス配管接続

ガス配管接続にあたっては、以下の事項に注意してください。

- ガス配管はの総延長はできるだけ短くなるように施工してください。
- 暖房機にガス配管の荷重がかからないように適切な位置で支えて固定してください。
- 寒冷地ではLPガスは容易に気化しません。この場合、ベーパーライザ等を設置してください。
- 暖房機の近くに必ずガスの元せんを設けてください。
- ガス配管終了後、試験圧力を加えてガス漏れのないことを確認してください。
- その他関連法規に従ってください。

ガス配管	ガス事業法、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律など
------	------------------------------------

## 接続口径と標準ガス供給圧力

この暖房機は右表に示す接続口径で標準ガス供給圧力が確保された時に規定の能力及び安全性が確保されるように設計されています。著しい供給圧力の違いは事故の原因になります。

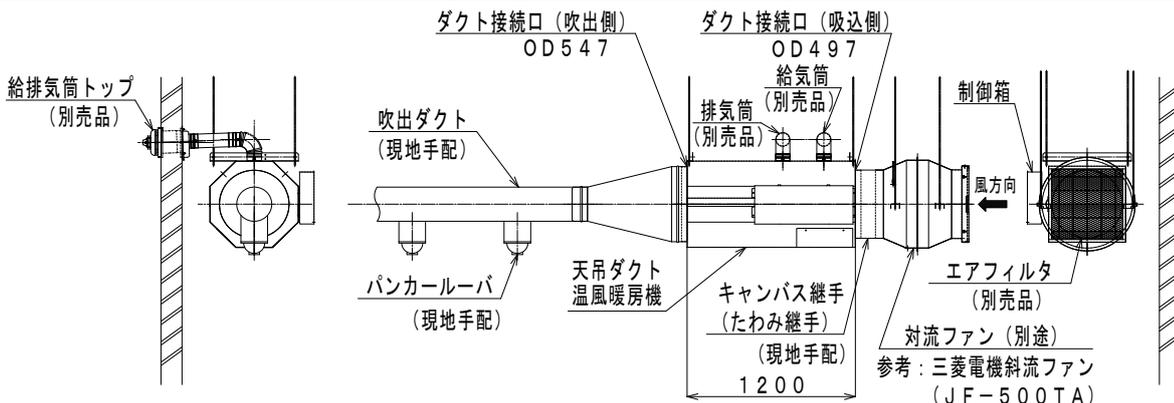
ガス種	接続口径	標準ガス供給圧
LPガス	R3/4(20A)	2.8kPa
都市ガス13A	R3/4(20A)	2.0kPa
都市ガス12A	R3/4(20A)	2.0kPa

## 電気接続

電気接続にあたっては、次の事項に注意してください。

- 要目表や暖房機の装置銘板に記述する指定の電源を使用してください。また要目表に記述する電源容量に基づいて開閉器、ヒューズ並びに電線太さを決めてください。
- 暖房機専用の電源回路を設けてください。
- D種接地工事を行ってください。
- その他関連法規(電気設備に関する技術的基準を定める省令、内線規定など)に従ってください。

## 施工例



名称	使用範囲	図番	XRF20679M	葉別	4/4
----	------	----	-----------	----	-----